

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372201067
事業所名	グループホーム若竹

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	商業地域に立地のため近隣に人家が少なく、地域住民によるホーム訪問や触れ合う機会はありません。日常的な散歩や職員が利用者と共に毎月15日のせんい団地の清掃デーに参加して、地域との交流を行っている。運営推進会議での民生委員からの情報や回覧板で地域情報を得て、中学での町民運動会や敬老会に参加し、朗読や落語のボランティアも受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	2か月毎に民生委員、家族代表、職員、地域包括支援センター職員は3回出席して開催されている。ホームの状況や相談、申込み件数を報告し、更に年間行事内容を説明したりしている。会議を利用者の様子がわかる場所で開催することでよりホームを理解できるよう工夫している。事情により町内会の参加は難しいが、民生委員から地域情報を得たり、意見交換が行われサービスの向上に努めている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	相談事があれば管理者は頻繁に市役所窓口を訪問し、担当者との協力関係構築に努めている。利用者の紹介や困難事例の受け入れ等は地域包括支援センターと連携している。実践者研修、ケアマネ研修等市主催の研修や講習会、セミナーの連絡を受け、積極的に参加、後日ホームで勉強会を開催し、職員の資質向上に取り組んでいる。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族は訪問時や電話、FAXで意見や要望を伝えており「喫茶店への外出を増やして欲しい」などの意見の反映に努めている。リビングに掲示の日常風景や行事の写真は、家族がホームの様子を知ったり会話の糸口になっている。家族会はないが、今後行事を利用し意見交換や交流の機会を持っていきたいと考えている。利用者の生活状況を書面にして郵送している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。